

2019年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1 / 2

日 程	研 究 科	区 分	試 験 科 目
B日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日 本 語

第1問 (1) ~ (10) の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) この問題はすでに顕在化している。
- (2) 特定の領域の研究が発達している。
- (3) 調査結果から想起される新たな問題。
- (4) 発話の意味を文脈の中で理解する。
- (5) AがBにどのように作用しているのかを調べる。
- (6) この研究に近接した調査である。
- (7) 話者の意図を推測する。
- (8) 現在の状況に基づいた調査が必要である。
- (9) 変化の原因を探る。
- (10) これまでになかった新しい分野の研究である。

第2問 (11) ~ (20) のひらがなを漢字に直しなさい。

- (11) 確かな こんきょ を述べる。
- (12) この活動により文化への理解を うなが すことができる。
- (13) 新たな理論の こうちく を行う。
- (14) 背景知識が かっせいか される。
- (15) この結果が教育方法の幅を広げる いちじょ になるであろう。
- (16) このデータを もち いて分析を進める。
- (17) 言語 かくとく の状況を観察する。
- (18) きじゅん を設けて分類を行う。
- (19) この現象は社会の動きに きいん している。
- (20) 専門用語の ていぎ を調べる。

第3問 次の文の下線 (21) ~ (25) に適切なことばを下の A~E から選んで、その記号を書きなさい。

(それぞれ1回しか使えません)

- ・これまでの研究から得られた (21) _____ を参考に、数年間の実践を重ねた結果、この方法の有効性を (22) _____ することができた。
- ・様々な仮説についての専門家による (23) _____ を経て、最終的に一つの結論を (24) _____ することができた。
- ・母集団のなかから 該当する対象者を (25) _____ し、再び分析を行った。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| A. 確定 | B. 検証 | C. 抽出 | D. 立証 | E. 知見 |
|-------|-------|-------|-------|-------|

2019年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 2 / 2

日 程	研 究 科	区 分	試 験 科 目
B 日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日 本 語

第4問 次の文章を読んで下の問い合わせに答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

- (1) 下線部 A 円滑に情報を伝える とあるが、そのためにはどうしたらよいか。文中から読み取れる内容を簡単にまとめなさい。
- (2) 空欄 B に入れるのに最もふさわしい一語を記しなさい。
- (3) この文章を読んであなたが考えたことを、120字以上150字以内でまとめなさい。